

I 計画の概要

① 人口ビジョン及び総合戦略の位置づけ

2014年12月に策定された国の「長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を念頭に、本村の人口減少(特に、働く世代や子どもたち)をできる限り食い止め、持続的に発展するために必要な施策をまとめた計画です。

② 策定に当たっての基本的な考え方

- ◆村に関係のある企業・団体等を交え、課題解決のために総合的な仕組みをつくります。
- ◆相乗効果を生み出すよう政策同士を連携させます。
- ◆周辺自治体との強みを活かした連携を意識します。

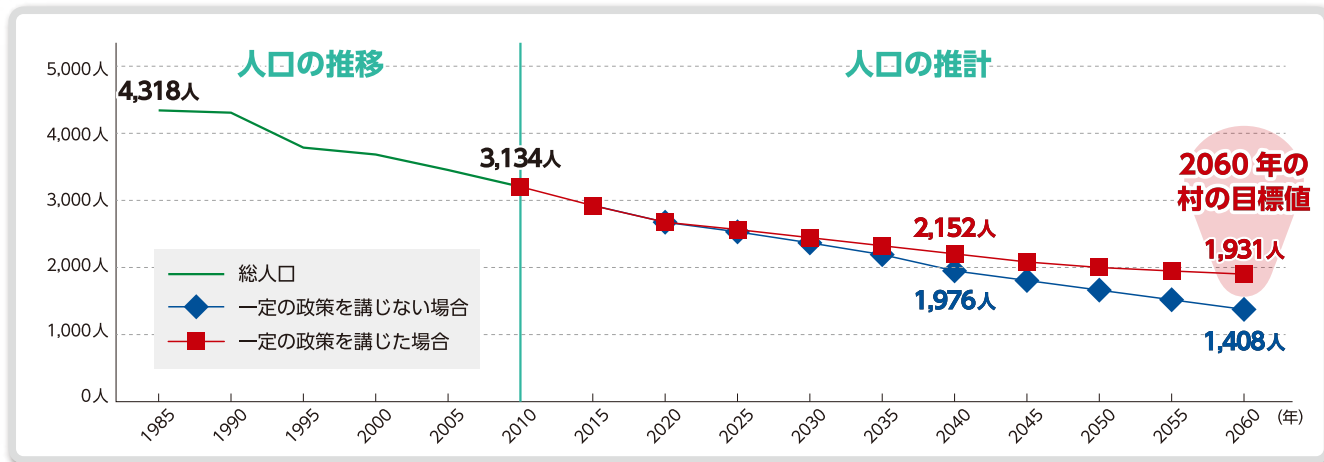
③ 計画期間

平成27年度から31年度までの5年間とします。

④ 推進体制

各施策、事業の評価等を行うとともに、地域を担う各主体にも広く意見をうかがいながら、効果の検証を行います。PDCAサイクルに基づく進捗管理等は毎年度行うものとし、評価・検証内容に応じて、本総合戦略の見直しを検討します。

II 木祖村の2060年の目標人口



III 村民アンケートによる住民の声

① 18～40歳の住民の意見

▶結婚について

結婚支援に関する行政が重点的に取り組むべき事業は「安定した雇用に向けた環境整備」が74.2%で最も高い。

▶出産・子育てについて

理想的な子どもの数を持つために必要な支援は「出産、子育て、教育にかかる費用援助」(57.4%)に次いで、「子育てと仕事が両立できる社会の形成」が49.5%と約半数が回答。

② 高校生等の意見

▶高校生世代で、「村外で暮らしたとしても将来木祖村に帰る予定や意向がある」人は84.0%。

▶高校生で、「将来も木祖村で過ごしたい人」は53.7%と半数以上。

しごとづくりが村に住み続けることのキーワード

IV 木祖村創生の基本方向

総合戦略の基本理念

先人の努力によって築かれてきた多くの恵みを次世代に繋いでいくこと、そして、これらの恵みをより多くの人々と共有し、木祖村の元気と笑顔をつなげていくことを基本理念とします。

元気いっぱい「源流の里」木祖村
～木曾川の恵みと笑顔あふれる村～

基本分野の設定と体系の整理

安定した雇用を生み出すことを村の創生、人口減抑制の中心課題とします。

